

津波に対する避難対策の検討について

1 趣旨

令和4年3月、県では最大クラスの津波浸水想定を発表しました。同年9月公表の「岩手県地震・津波被害想定調査報告書」では、想定される地震・津波によって、当市において最大400人の犠牲者が出ると想定されましたが、避難行動の迅速化等を図ることにより、犠牲者ゼロが可能であるとシミュレーションされたところです。

また、県と沿岸市町村では、共通する課題と具体的な減災対策の検討を行い、令和5年8月に、岩手県地震・津波減災対策検討会議報告書が取りまとめられ、自動車避難の検討に係る留意点等が示されました。

これまでの県公表の調査報告書を踏まえて、市民等の避難行動の迅速化などにより、津波災害による犠牲者ゼロを目指すため、地域の実情に合わせた避難対策の検討及び避難行動の方針を示すことを目的とし、大船渡市津波避難対策検討会議を設置し協議します。

2 検討事項等

- (1) 津波災害時における自動車避難の課題抽出
- (2) 自動車避難のあり方の検討（避難行動要支援者の避難を含む）
- (3) 事業従事者の避難対策の検討
- (4) 観光客等の地理不案内者の避難対策の検討
- (5) 避難行動方針の取りまとめ

3 検討会議構成団体等

岩手県立大学（防災復興支援センター）、国土交通省東北地方整備局南三陸沿岸国道事務所、岩手県沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター、大船渡警察署、大船渡市地区公民館連絡協議会、大船渡商工会議所、大船渡市社会福祉協議会、大船渡市観光物産協会、防災士、大船渡消防署、市関係部署 17名で構成する予定

4 今後のスケジュール等

月	検討会議	その他
7	第1回会議 検討内容共有、課題意見交換	
9		津波避難地域ワークショップ (9月下旬～10月)
10	第2回会議 方針素案協議、意見交換	
2	第3回会議 方針案提案	